

平成29年7月31日

熊取町議会

議長 坂上巳生男 殿

会派名 熊取公明党

幹事長名 渡辺豊子 印

経理責任者 二見裕子 印

会派視察実施報告書

熊取町議会政務調査費交付運営要領第11条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

視 察 期 間	H29年7月26日（水）～ 27日（木）	
視 察 先	岡山県総社市 岡山県総社市中央1丁目1番1号 岡山県高梁市 岡山県高梁市松原通り2043番地	
視 察 目 的	総社市：子育て王国そうじゃ基金、英語特区、定住促進助成金について 高梁市：定住促進・空き家対策、市立図書館について	
出 席 者 氏 名	渡辺豊子、二見裕子	
旅 費 明 細	1人当たり 交通費 <u>18,650 円</u> 宿泊料 <u>8,035 円</u> その他（日当） <u>6,000 円</u> 合 計 <u>32,685 円</u>	旅費総額 2人分 <u>65,370 円</u>

6. 報告書

報告者 渡辺豊子

7月26日(水) 総社市

○子育て王国そうじゃ基金について

「子育て王国そうじゃまちづくり事業」についての説明。

子育て王国そうじゃとは、特定の政策を行っていることをもって「子育て王国」と称しているものではない。政策の優先順位を決める際は、子どもを最優先にする。

1. 「子ども条例」の制定 平成21年9月9日に制定

平成21年11月15日(家族の日) 施行

- ・子ども会議の開催
- ・子ども議会の開催
- ・高校生議会の開催

2. 県大そうじゃ子育てカレッジの開設

3. 赤ちゃんの駅登録事業

4. 病児保育室「ほっとチュッピー」の開設

5. ファミリーサポート事業

6. 小児医療の無料化拡大

平成20年4月から 小学校6年生まで完全無料

平成29年度中学1年生までの無料化を検討中

7. 「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会事業

8. 「子育て王国そうじゃ基金」の活用

名誉市民江口敏臣氏からの寄付金を契機に子育て支援の充実のために平成23年度に基金を設置。基金を活用して子育て王国総社まちづくり実行委員会事業を実施。

9. 保育量の拡大

10. 放課後児童クラブ事業

11. こんにちは赤ちゃん事業

12. つどいの広場

13. 地域子育て支援センター

14. 親子クラブ

15. 不妊・不育治療の費用助成

不妊治療の助成：1回当たり10万円限度に6回まで

不育治療の助成；一人1年度につき10万円を限度に5回まで。

- 16. 風疹、おたふくかぜ予防接種費用助成
風疹：5000円（上限）
おたふくかぜ；3000円（上限） 1歳から年少児
- 17. HPV検査費用助成
助成額 2600円
- 18. そうじゃ式早期一貫サポートシステム

○英語特区について

- ・総社市英語特区の対象
2 幼稚園、2 小学校、1 中学校
（山田幼稚園、維新幼稚園、昭和小学校、維新小学校、昭和中学校）
- ・目的
幼少中一貫した特別な英語教育
豊かなコミュニケーション能力と国際的視野を身に着けた人材の育成
- ・目標
小学6年生：英検4級レベルの英語力
中学3年生：英検2級レベルの英語力

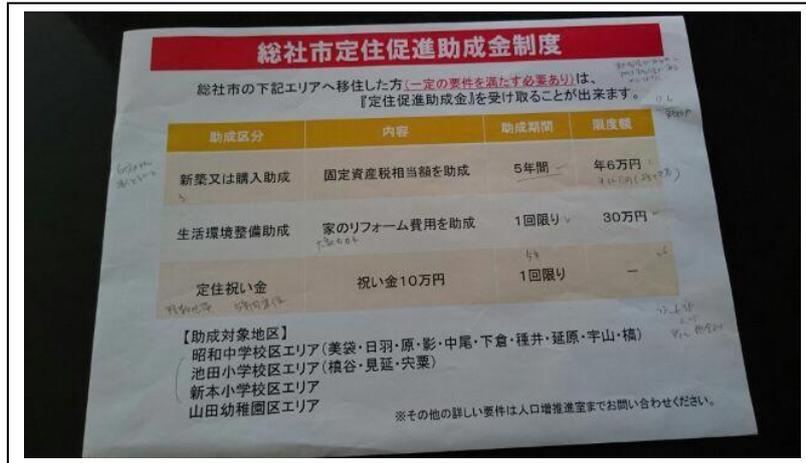
※学区弾力化で市内外・全国から子ども募集する。

- ・昭和小学校の取り組み
25年度 県外国語教育推進事業
26年度 文科省教育課程特例校としてスタート
3年生以上に英語専科を設置
授業づくりをDVDで鑑賞
成果；英検講座参加者 H26年 13人 ⇒ H29年 69人
合格者数
2級：3人 準2級：4人 3級：22人 4級：16人
- ・学区外から教育特区に転入した子どもの数は、全児童の35%を占める。
昭和小学校 全校児童数は123名中43名が学区外からの転入生。

○総社市定住促進助成金制度について

総社市の東西南北の4つのエリアの中で、過疎地域に限定して定住促進助成金を支給している。

詳しくは次ページの表



<感想>

・庁舎の玄関の上に大きく「子育て王国そうじゃ」の看板が掲げられていて、子育て支援を最優先に取り組んでいることが、全ての来庁者にわかるようにしている。まちの姿勢があらわれていると感じた。



・子ども条例を創設し、子ども達の視点や意見をまちづくりに反映させていることが、子ども最優先の姿勢に表れていると感じた。

・基金を創設し、医療費や予防接種などに活用している。本町でもふるさと応援基金の活用を、子育て応援基金として医療費助成などに活用を検討してほしいと思う。

・英語特区については、過疎地域への転入定住促進として、全国から移住を受け入れることができる施策として、大変参考にしたいと思う。

・定住促進助成金については、助成対象地域を限定している理由が過疎地域であり、また英語特区にすることで、移住や定住を促進できるとのことで大変勉強になった。

7月27日(木) 高梁市

○定住促進・空き家対策について

- ・高梁市の人口変化は平成27年国勢調査確定値で32,075人。ピーク時から半減。
- ・平成28年4月 課名を「住もうよ高梁推進課」に変更

① 高梁市の定住促進施策 I

- ・定住促進住宅新築助成金制度の制定(平成21年度～24、25、26、27年度拡充)
交付限度額 土地取得：100万円 + 住宅建築：15万円～100万円

- ・住宅リフォーム補助事業（平成 23 年～27、28 年度拡充）
交付限度額：30 万円 補助率 1/10

② 高梁市の定住促進施策Ⅱ

- ・まちづくり結婚推進事業
- ・ハッピーウェディング奨励事業
- ・新婚世帯家賃助成金制度（平成 25 年度～ ）
- ・単身用住宅改修整備促進補助金（平成 24 年度～ ）

③ 高梁市の定住促進施策Ⅲ

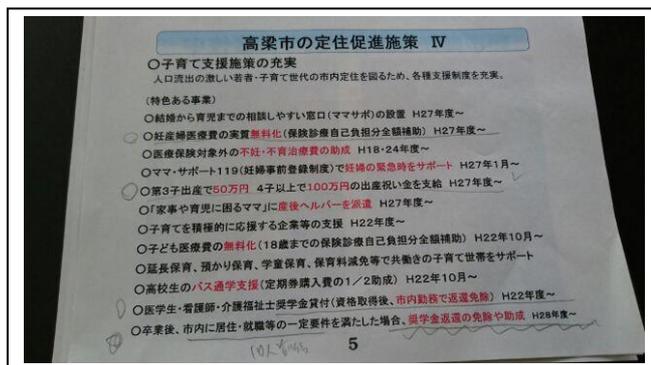
- ・世帯向け賃貸住宅建設等促進助成金（平成 27 年度～ ）
補助率 建設 対象経費の 1/10 交付限度額 100 万円/1 戸
改修 対象経費の 1/5 交付限度額 30 万円/1 戸

- ・私立学校入学奨励金制度（平成 22 年度～ ）

市内私立学校への入学と若者定住の促進のため、私立学校入学奨励金を支給
入学金全額または半額

④ 高梁市の定住促進施策Ⅳ

子育て支援施策の充実



⑤ 高梁市の移住支援施策

- ・移住相談窓口の設置
- ・空き家・空き農地情報バンク制度の運用
- ・移住コンシェルジュの設置（平成 27 年 9 月～ ）
- ・定住促進空き家活用事業助成金（平成 21 年度～24、25、27 年度拡充）
- ・定住促進空き家活用法賃助成金制度（平成 29 年度～ ）
- ・地域ぐるみの空き家活用モデル事業（平成 24 年度～ ）
- ・地域おこし協力隊事業（平成 23 年 12 月～ ）
- ・起業化・新規分野参入支援補助金（平成 26 年度～ ）
- ・就農奨励金

○高梁市立図書館について

カルチュア・コンビニエンス・クラブが指定管理者として運営するようになった経緯と住民の反響、利用状況、費用対効果について

・経緯

平成 18 年 4 月高梁市立高梁中央図書館基本構想を策定

平成 24 年 11 月高梁中央図書館建設基本計画を策定

市民アンケート、ワークショップを開催

平成 27 年 3 月高梁市立図書館指定管理者業務要求水準書を策定

平成 27 年 5 月高梁市新図書館 C C C 提案書が採択

平成 29 年 2 月 4 日 高梁市複合施設（高梁市図書館） 開館

・住民の反響

利用者アンケートを（2 月 18 日～3 月 4 日）実施

大いに満足、満足が 89%

今後も利用したいか 非常にそう思う、そう思うが 93%

・利用状況

来館者数 2.4 万人/年（移転前） ⇒ 30 万人を超えた（現在）

・費用対効果

指定管理料（図書館運営費）は以前は 5 千万円、現在は C C C の指定管理料は 1 億 4,800 万円。費用は 3 倍かかっている。

社会的意義や効果として次の点が考えられる。

- ① 人口の少ない地方都市での図書館を中心とした町の活性化
- ② 観光案内書運営によるノウハウの蓄積
- ③ 観光・図書館・書店・カフェ複合による魅力的な公共施設運営
- ④ 人口 3 万人規模の都市で成立するローコストモデルづくり

<感想>

・高梁市はあらゆる定住促進施策を継続して実施し、さらに拡充をして転入・定住を推進しているところが、素晴らしいと思った。熊取町は転入・定住促進策を 3 年間の期間限定で実施したが、効果があったと評価しながら財源不足を理由に継続していない。長い面で見ると時の効果を検証すべきである。今後の高梁市の人口増が大いに期待される。

・高梁市と本町の違いの大きな点は、高梁市は過疎債が交付税に適用されるので、さまざまな交付事業が実施しやすい点であった。

・図書館については、駅に連結して図書館を建設し、複合施設として、子どもから高齢者まで、沢山の方が利用されている。本町の図書館についても、今後 こういっ

6. 報告書

報告者 二見ひろ子

◎総社市

子育て王国そうじゃ基金・英語特区・定住促進助成金について

・岡山県内 15 市で、岡山市、倉敷市、総社市が人口増加している自治体。
その中でも総社市が県内トップの増加率 0.3%(H28.1.1 時点と H29.1.1 時点比較)
瀬戸内海特有の温暖、少雨の恵まれた気候と災害が少ないことや企業誘致により、西
日本の物流の拠点となり雇用を創出し、まちが活性化されている。

・「子育て王国そうじゃ」と称して、市役所全体がそうあるべきと、施策に取り組める
ように、政策の優先順位が子どもを最優先にしている。

「子ども条例」を制定して、子ども会議、子ども議会、高校生議会等に取り組んでい
る。「子育て王国そうじゃ基金」は名誉市民の方からの寄付金を契機に、子育ての充実
のために、H23 に基金設置し、基金を活用しての子育て王国そうじゃまちづくり実行
委員会事業を実施している。その中の一つに小児医療の無料化拡大として、小学校 6
年生までと中学校の入院分を完全に無料としている。医療費の適正化委員会でボーダ
ーを決めた小児医療費決算額で削減できた場合は基金に積み立て、成果還元としてワ
クチン費用助成に使う等している。

その他にも様々な取り組みをされていますが、まち全体が子育てという観点でまちづ
くりをされているのは勉強になった。

・英語特区については、過疎となってきた所の取り組みとしてスタートをしている。

英語特区は幼稚園 2、小学校 2、中学校 1

体育・英語特区は幼稚園 1、小学校 1

音楽・英語特区は幼稚園 1、小学校 1

住民登録地がどこであっても就園、就学できる。

人口減少の加速からの学校規模の縮小でコミュニケーション力が少なくなるという
弱みを英語特区の立ち上げで、移住定住での地域の活性化と人材育成につなげてい
る。英語の授業時間は小学校では低学年の通常 10 時間→20 時間、中学年の通常 20
時間→35 時間、高学年の通常 35 時間→70 時間、中学校では週 5 時間、毎日英語があ
る。専任の ALT が毎時間授業に入る。

ALT の採用においては、学校に専任配置をしていて、様々な場面で ALT を活用して

いる。(例えば、1～4年生の図工でイメージング、体育、図書の読み聞かせ、休み時間、給食、掃除等) 英語に浸る機会を増やす。

子どもの耳が一番いい時期が6歳なので、幼稚園にも配置。

アルファベットに親しむ「フォニックス」においては小学校3年生から取り組んでいる。(通常は中学校)

オーストラリアホームステイは熊取町でも行っているが、総社市は英語特区と通常とで、毎年、派遣をしていて、2年毎に受け入れがある。小学校6年生もH27年度には参加している。

スカイプを使って、メルボルン(時差1時間)の小学校との交流もしている。

今後の課題としては、学区外から来た子どもが増え、どこの子どもなのか、わからないということで、地域コミュニティが変容している。このことから、移住が増えているのがわかる。

・定住促進助成金制度については、エリアを指定しての移住で定住促進助成金を出している。山間の過疎となってきた所に英語特区と合わせて、活性化の取り組みをしている。助成期間はあるが、制度としての期間はない。

・その他にも様々な取り組みを行っていて、住民の一人ひとりが何らかの施策で恩恵を受け、まちづくりに参加している事により、市が活性化してきていると感じた。

◎高梁市

定住促進・空き家対策・市立図書館について

・高梁市は平成大合併の気運の中でH16年に関係5市町が合併し、新市として発足。低地部と高原部にいたる傾斜部と高原部からなり、年間を通じて霧の発生も多く、一部では積雪も見られる。地勢条件等に恵まれないこともあり、若年労働者を中心とした都市への人口流出と出生率の低下によって、人口減少が続いている。

・定住促進の施策については、住宅新築助成金制度は、子育て世代の市内定住を目的に、新築にたいして、土地所得+住宅建築に助成金を交付。(総社市に比べて、平地部が少ない為、土地価格が高い)

住宅リフォーム補助事業は、市内建築業者により、経費の一部を助成。(結婚を機に両親等と同居の為には限度額がアップ)

縁結びサポーター制度・縁結び奨励金制度。

ハッピーウェディング奨励事業として、市内で結婚式か披露宴を行う新郎新婦(結婚後市内に住所を有する)に奨励金を交付。

新婚世帯家賃助成金制度は、新婚世帯の市内定住と民間賃貸住宅の活用を図る為、民間住宅の入居に家賃補助。等々、そのほかにも様々な施策を展開している。

・若者定住促進としては、私立学校入学奨励金制度。(入学金全額か半額を支給)

・子育て支援施策では、出生率が低く、産科はあるが出産出来ないため、妊婦事前登録で妊婦の緊急時に救急車で運ぶ、ママサポート 119 や妊産婦医療費の実質無料化(保険診療自己負担分全額補助)、子ども医療費の無料化(18歳までの保険診療自己負担分全額補助) 等々、そのほかにも様々な支援制度を充実。

・移住支援として、空き家・空き農地情報バンク制度を運用。過疎、高齢化、農地、山林の荒廃が進むなか、有効活用を図るために情報提供を行う。

(固定資産税の納税通知書に空き家バンクの登録のチラシを同封して制度を周知させている)、移住コンサルジュの設置、空き家を有効活用した市内定住の為の空き家の購入や家財整理や改修に対しての助成金を交付。(家財整理に助成金を交付すれば、手付かずに残っている空き家の整理が出来、有効利用が進む)

・市立図書館について

人口規模に応じた図書館の設置に合わせて、複合施設として、市の魅力を創造し発信し、市民の福祉、生活文化の向上に資するために設置。

JR 備中高梁駅の市所有のバスセンターを4階に建て替え、図書館、バスセンター、駅東西連絡道で構成。

事業費は、社会資本整備総合交付金(1/2)、過疎債(総合戦略家課)(社会教育課)を活用。(図書館としての交付金制度はない)

駅の改札を出ると、2階にある観光案内所、スターバックスコーヒーと蔦屋書店、図書館の施設に入ることが出来る。図書館内は階によって用途を分けて、図書館の機能としても充実したものになっていた。図書館は指定管理。カフェ、書店等はテナント料を貰っている。

H29年2月開館、来館者目標の20万人を5月に達成し、7月26日現在で34万4千人を超えている。指定管理料(図書館運営費)は移転前の3倍の金額となっているが、経済波及効果は大きい。指定管理の提案で移動図書館を充実させている。遠隔地に本を届けるだけでなく、パン販売サービススポットとして滞在時間を30分~1時間と

して、日用品やパンの販売やカフェ等を全国初の取り組みとして実施している。

<視察の感想>

総社市、高梁市の2市を視察させて頂いたが、人口減少をどのように改善するかの取り組みは、若い世帯に転入定住して貰って、子育て世帯にのみ恩恵があるような施策に思われるが、その効果によって、地域のコミュニティが若返り、賑わいを見せている。市民全員が何らかの恩恵を受けることになる。

また、図書館を使った交流人口の経済効果や指定管理のアイデアで移動図書館を使っての買い物難民の解消に取り組む等、効果は大きいと感じた。

7月26日(水)・27日(木) 岡山県総社市・高梁市視察行程表

熊取公明党 渡辺豊子・二見裕子

月日	曜日	行程表
7/26	水	8:04 JR日根野駅 はるか0006号 ↓ 9:18 新大阪駅 さくら0549号 ↓ 10:07 岡山駅着 (JR伯備線 岡山→総社 500円) ↓ 13:00~15:00 総社市役所 研修 ↓ (JR伯備線 総社→岡山 500円) 17:00 岡山駅 アパホテル宿泊
7/27	木	岡山駅 (JR伯備線 岡山→備中高梁 840円) ↓ 10:00~12:00 高梁市役所 研修 13:00~15:00 高梁市立図書館 視察 ↓ (JR伯備線 備中高梁→岡山 840円) 17:53 岡山駅 のぞみ0048号 ↓ 18:38 新大阪駅着 19:00 新大阪発 はるか51号 ↓ 19:49 日根野着

交通費 (一人分)

JR	日根野⇄新大阪 (特急)	1,360円
	日根野⇄岡山 (往復乗車券)	8,000円
	新大阪→岡山 さくら	3,200円
	岡山→新大阪 のぞみ	3,410円
JR	岡山⇄総社 (伯備線)	1,000円
	岡山⇄備中高梁 (伯備線)	1,680円
	合計	18,650円

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB関西

B No. 018204

熊取公明党 渡辺 豊子様

JTB関西イオンモール日根野店
泉佐野市日根野2496-1
イオンモール日根野 | 電話 7599-0321



平成 29年 7月 4日

下記の金額正に領収いたしました。

¥15,970.8

但し JR券代金として(7/26迄付戻)

5/9付 ¥10000- 入金現金

出納責任者	取扱者

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB関西

B No. 018203

熊取公明堂 二見 裕子様

JTB関西イオンモール日根野店
泉佐野市日根野2496-1
イオンモール日根野1階 〒590-0021



平成 29年 7月 4日

下記の金額正に領収いたしました。

¥15,970.00

但し JTB券代金として (7/26発行)

5/9付 ¥10,000- 入金(現金)

出納責任者	取扱者

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

収 入
印 紙